

生まれた時から良質で新しい刺激を子どもに与え続けることが大切。そうはいても、ご家庭で日々新しいことを子どもに経験させるのはなかなか大変です。

くぼたのうけんでは、月齢・年齢ごとに「認知」「身体」「手」（幼児クラスからは「言語」「暗算」）それぞれの観点から、前頭前野を

鍛える独自のカリキュラムを実践しています。さらに、各カリキュラムを行う適切なタイミングについても考え抜かれています。例えば0～1歳児「手」のカリキュラムでは、「握る」から始まり、次に「つまむ」「両手を使う」というように、身体の発達に応じて取り組むことで、最終的に「鉛筆を持つ」「道具を使う」などの高度な器用さが必要な

動作に繋がっていきます。

レッスンは月齢・年齢別に分けられた少人数制で行います。乳幼児教育に精通した講師が、久保田式育児法を細かいポイントまで踏まえて丁寧にお教えし、お子様の育脳をサポートいたします。

幼児クラス

内容	年々少	年少	年中	年長	
認知	色・大きさの仲間探し Kパッチ	色・大きさ・形について（話を聞く） 数の概念がわかる（多い・少ない・同じ） 数字と数量を一致して理解する（足し算の概念）	数の概念がわかる（サイコロ） Kパッチ（見本と同じになるように置く） オリジナル教材③	数の概念がわかる（サイコロ） Kパッチ（見本と同じになるように置く） オリジナル教材③ 分数の概念（通分・約分に繋がる考え方を身につける） 分けっこ遊び（色・形・大きさで分ける） 天びんばかりを自分で作る 方向感覚（地図をかく） 形の構成（推理しながら図形を形成する）	分けっこ遊び（自分で決めた基準で分ける） 方向感覚（地図をかく） 形の構成（推理しながら図形を形成する）
身体	いろいろな身体の動かし方 キャッチボール	指示を記憶して行動する いろいろな身体の動かし方 2～3つのことを同時に行う	手と足とで違う動きをする 大縄跳び ルールを守って遊ぶ	複雑な指示を記憶し行動する 身体を使って方向感覚ゲーム	
手	道具の使い方 うんぴつ オリジナル教材④	ひも通し（縫うように順番に） 折り紙 布で包んで結ぶ、ほどく うんぴつ・模写	平面から立体を作る 雲型定規などで型をとる パズル作り うんぴつ・模写	紙で包む ちょう結び 雲型定規 じゃばら折り・三角折り・五角折り 箸あそび かた結び・ちょう結び・三つ編み	
言語	ことわざ	ことわざ	論語など	百人一首など	
暗算	足し算	足し算	引き算	かけ算	

▶ オリジナル教材② 活用カリキュラム例

0歳児カリキュラム ナインボール

ボールを取り出すためには、指先でつまむ必要があります。てのひらで握ろうとしても取り出すことができません。（対象月齢：10ヵ月～）



ポイント

- プレジジョングリップ（5本の指先だけが物に触れている握り方）でボールをつまむように促します。上手に取れるようになったら、色・位置・数を指定し、その通りにボールを配置できるよう子どもに指示します。

▶ オリジナル教材③ 活用カリキュラム例

年中クラスカリキュラム Kパッチ



○△□の3つの図形を組み合わせて作ったパズル。いくつかのKパッチを組み合わせて遊ぶことで、直感的に判断できる能力を養います。

▶ オリジナル教材④ 活用カリキュラム例

年少～年長クラスカリキュラム うんぴつ（プリントワーク）

鉛筆の動きをコントロールする練習です。決められた時間の中で集中して取り組みます。上達すると、できる枚数が増えていきます。



ポイント

- よい姿勢を保つことが、集中力を高めることにつながります。

くぼたのうけんは お父さん・お母さんのための教室です

育脳のためには、実は週1回の教室で行うカリキュラムだけでは十分ではありません。教室で学んだことを自宅で毎日繰り返すことが大切です。

お父さん・お母さんが一緒に楽しみながら、自宅でも継続して働きかけてあげましょう。教室では各ご家庭それぞれのお悩みや疑問にも個別にお答えいたします。

